

平成 29 年度 事業報告

1. 事業

この法人は、進路指導の普及発展に寄与することを目的として、平成 29 年度は定款第 4 条に掲げる下記の事業を行った。

(1) 進路指導に関する調査研究

1) 研究委託校の委嘱による調査研究

全国都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会等の推薦を受けて研究委託校を指定し、教育現場における進路指導諸問題の調査研究を推進した。

(2) 進路指導に関する研修会・講演会、研究協議会等の開催

1) 第 66 回進路指導・キャリア教育研究協議全国大会の開催

○大会主題 「新学習指導要領に向けた進路指導・キャリア教育の一層の推進を目指して」

○会 期 平成 29 年 7 月 27 日（木）、7 月 28 日（金）の 2 日間

○会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町 3-1）

○参加人数 350 名

○日 程

第 1 日 7 月 27 日（木）

① 開会式（9:40～10:10）

式 辞 公益財団法人日本進路指導協会 会長

鈴木 正 人

祝 辞 文部科学省

文 部 科 学 省 殿

功績者表彰 日本進路指導協会賞授賞者

大阪府高槻市立第四中学校区

「ゆめみらい学園」

日本進路指導協会会長感謝状贈呈者

前東京都立豊多摩高等学校主幹教諭

飯 泉 誠 殿

株式会社実務教育出版 取締役会長

池 澤 徹 也 殿

千葉県立千葉工業高等学校教諭

大 木 正 臣 殿

東京都立青山高等学校教諭

大 橋 志 津 江 殿

前公益財団法人日本進路指導協会常務理事

河 野 石 根 殿

東京都大田区立矢口中学校校長

齋 藤 淳 殿

労働政策研究・研修機構主任研究員

下 村 英 雄 殿

沖縄県名護市立屋部中学校校長

新 里 孝 雄 殿

東京都板橋区立加賀中学校副校長

高 田 祐 一 殿

岩手県盛岡市立大宮中学校校長

田 村 忠 殿

福岡教育大学名誉教授

永 田 萬 亨 殿

秋田県秋田市立土崎中学校教諭

平 良 木 洋 殿

九州大学主幹教授

吉 本 圭 一 殿

(公財)日本進路指導協会創立 90 周年記念

文部科学大臣感謝状贈呈者

じて展覧に供してきた。

2) 研究協議会等における資料の収集・展示

全国大会あるいは地区進路指導研究大会等に出席の折、進路指導諸資料の収集や協会出版物の展示・頒布に努めてきた。

(6) 進路指導に関する図書、資料、雑誌の出版及び推薦

1) 機関誌「進路指導」の出版・推薦

協会発足より 90 年間にわたり機関誌「進路指導」(旧「職業指導」)を出版刊行してきたが平成 20 年度から月刊を季刊に改め、本年も継続し努めて全国小・中・高・大等現場の教育者の購読を推奨してきた。

2) 副読本「中学生生活と進路」の改訂・推薦

全面的に改定された「中学生生活と進路」の採択促進に努めた。

3) その他の書籍の出版・推薦

文部科学省(旧文部省)の刊行物では「中学校・高等学校進路指導の手引(各編)」および「中学校(高校学校)進路指導資料(2・3分冊)」について、広く全国の進路指導関係者に頒布・推薦してきた。

すでに刊行している、日本における進路指導の成立と展開・キャリア教育Q&Aワーク(中学校編)鹿嶋研之助監修・キャリア教育のエッセンス(吉田 辰雄監修)の普及に努めた。

(7) 進路指導に関する研究委託校の決定と指導援助および助成

1) 研究委託校の選定

財団法人日本進路指導協会研究委託校規程に基づき、都道府県・政令指定都市の教育委員会に推薦を依頼して委託校を決定した。平成 29・30 年度委託校は下表のとおりである。なお本年度は小中連携あるいは中高連携をねらいとして選定した。

平成 29・30 年度研究委託校一覧

番号	学校名	〒	所在地	TEL・FAX	研究題目
1	大阪府和泉市立 小学校	594-0005	大阪府和泉市幸2丁目3-1	TEL 0725-44-2330	自分も周りの人も幸せにするための力を育てる
2	佐賀県武雄市立 武雄中学校	849-2303	佐賀県武雄市山内町大字三 間坂甲 14209	TEL 0954-45-3555	夢と誇りを持ち自己実現を目指す生徒の育成

6	10月21日 (土)	本校におけるキャリア教育の取り組み	東京都足立区立六月中学校 教諭 佐藤 勝
		東京都新教科「人間と社会」実践報告と体験	東京都立江戸川高等学校 教諭 下西 美穂
7	11月11日 (土)	ワークシートを通したキャリア教育	東京都立晴海総合高等学校 主任教諭 多田 早穂子
		自分も他者も大切に自信を持って挑戦する 子供の育成	東京都世田谷区立尾山台小学校 校長 渡部 理枝
8	12月2日 (土)	キャリア教育への厚生労働省の取組	厚生労働省職業能力開発局室長補佐 日高 幸哉
		キャリア教育への経済産業省の取組	経済産業省経済産業政策局産業人材室 市川 直樹

(3) 平成29年度(第17回)協会賞・功績者表彰の授賞者の選定について

平成29年3月15日(水)協会事務室にて協会賞選考委員会を開催した。(P2に掲載)

平成29年6月13日(火)協会事務室にて功績者選考委員会を開催選定した。(P2に掲載)

(4) 進路指導に関する関係諸団体との連絡提携

1) 進路指導研究協議全国大会における連携

前記の全国大会の開催については、その計画・立案の段階から、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会(以下全中進という)、全国高等学校進路指導協議会(以下全高進と)、ならびに日本キャリア教育学会(以下学会という)との密接な連携のもとに進めており、第40回全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議大会、第42回全国高等学校研究協議大会を兼ねる形で実施した。

また、この事業は文部科学省の後援をいただいたほか、次の諸団体の後援もいただいた。

東京都教育委員会 全国都道府県教育長協議会
 全国連合小学校長会 全日本中学校長会
 全国高等学校長協会 日本私立中学高等学校連合会

2) 機関誌「進路指導」の編集についての連携

機関誌「進路指導」は何よりも現場教師の指導に役立つものでなければならない。

そのため小・中・高の進路学習キャリア教育の実践モデルを連載するなど、編集について全中進・全高進・日本キャリア教育学会の積極的な協力を得た。

3) 日常活動における関係団体との連携

研究活動はもとより、必要な情報の交換・共有等のため独立行政法人労働政策研究・研修機構、(財)産業雇用安定センター、全国商業高等学校長協会、全国工業高等学校長協会、全国農業高等学校長協会等多くの関係団体との連携を図った。

(5) 進路指導に関する資料の収集及び展示

1) 研究委託校の調査研究資料の収集・展示

研究委託校における研究成果は、2か年の委託期間が満了した折、報告書として提出される。その資料は一部を機関誌「進路指導」で紹介し、他は整理保管し、関係者の求めに応

佐賀県佐賀市立川副中学校校長	池之上 義 弘 殿
宮城教育大学監事	菊 池 武 剋 殿
東京都荒川区立第三中学校校長	清 水 隆 彦 殿
前東京都立晴海総合高等学校主任教諭	千 葉 吉 裕 殿

② 記念講演 (10:10～11:30)

演 題 「次期学習指導要領改訂の基本的な考え方」

講 師 和歌山県教育長 宮 下 和 己 先生

③ 分科会 (13:00～16:00)

第1分科会「進路学習・キャリア教育の計画と実践」(中)

第2分科会「進路学習・キャリア教育の計画と実践」(高)

第3分科会「中学校における進学・就職への指導・援助の在り方」(中)

第4分科会「大学・短期大学・専修学校など進学への指導・援助の在り方」(高)

第5分科会「小・中学校におけるキャリア教育の在り方」(小・中)

第6分科会「高等学校における就職などへの指導・援助の在り方」(高)

第2日 7月28日(金)

① 全体会 (9:30～11:50)

小学校・中学校全体会「小学校・中学校における進路指導・キャリア教育の諸問題とその解決」

高等学校全体会「高等学校における進路指導キャリア教育の諸問題とその解決」

② 研究協議 (13:00～16:00)

全体研究協議

「進路指導研究の課題とその解決の推進」

2) キャリア研修講座(全8回実施)

回	日程	研 修 テ ー マ	講 師(予定)
1	5月27日 (土)	キャリア教育への文部科学省の取り組み	(公財)日本進路指導協会 理事 千葉 吉裕
		授業力向上のための実線コミュニティーの形成	静岡県立韮山高等学校 副校長 高梨 文憲
2	6月17日 (土)	本学におけるキャリア教育の取り組み	明海大学 教授 内藤 孝美
		主体性を育てるキャリア教育の取り組み	東京都立翔陽高等学校 教諭 鈴木 高志
3	7月22日 (土)	地域を生かしたキャリア教育	千葉市立幸町小学校 教諭 伊藤 正樹
		生育環境が影響を与える進路指導	NPO 法人カタリバ 加賀 大資
4	8月19日 (土)	学ぶ場の作り方と対話のチカラ	東京都立足立西高等学校 教諭 島村 学
		特別支援教育におけるキャリア教育	東京都板橋区立中台小学校 校長 海藤 美鈴
5	9月16日 (土)	中学校数学科の授業におけるキャリア教育の実践	千葉市立松ヶ丘中学校 教諭 中村 洋介
		学校行事の事前・事後指導を通じて行うキャリア教育	千葉市立松ヶ丘中学校 教諭 中村 洋介

3	東京都立秋留台 高等学校	197-0812	東京都あきる野市平沢 153 -4	TEL 042-559-6821	生徒指導に卒業生の追指導 を生かす工夫
---	-----------------	----------	----------------------	---------------------	------------------------

2) 指導援助と助成

研究委託校の要請に基づいて、発表会・研究会等に指導のための講師を派遣し、その経費を負担している。

次年度に平成 30・31 年度研究委託校に対し、研究実践成果報告書の提出をまって、その作成謝金として1校当たり 30,000 円を交付する。

(8) 児童・生徒の進学・就職に関する進路選択等の指導援助

年間を通して進路選択に関する本人あるいは保護者の相談は多い。電話による相談が大半であるが、時には来所相談もある。本人の在籍校で相談を深めることを基本として、それぞれの悩みに対応した指導援助にあたってきた。

(9) 進路指導に関する政府の諮問に応ずること。政府その他機関に対する意見の提出

協会は文部科学省の施策に全面的に協力する立場から、常に教育現場に生ずる進路指導上の問題を把握し、必要に応じて参考意見を述べたり、調査研究に協力してきた。

(10) その他目的を達成するために必要な事業

- 1) 進路指導の国際機関である国際教育・職業指導協会（IAEVG）の加盟団体として、また、アメリカ進路指導協会（NCDA）の友好団体として、さらにはアジア地域教育・職業指導協会（ARACD）の有力メンバーとして国際活動に協力した。
- 2) 全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、全国高等学校進路指導協議会、日本キャリア教育学会、その他の関係団体と協力し、進路指導の交流・発展に努めた。